

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 13 日

評価対象事業		評価者	環境施設課長	谷川 克也
環境-11	実施事業	ごみ処理広域化計画推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 環境施設課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	名越・今泉クリーンセンター等
意図	処理施設の整備及び適正管理を図るため。
効果	一般廃棄物の適正処理が図られる。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

・今後のごみ処理体制の検討を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		データ区分	02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	0	0	0	当初予算(千円)	50		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	0	0	0	一般財源	50		
	人員配置数	1.0	1.6	1.6	人員配置数	1.8		
	人件費(千円)	7,961	13,190	13,190	人件費(千円)	14,580		
事業経費運営	総事業費(千円)	7,961	13,190	13,190	総事業費(千円)	14,630		
	市民1人当りの経費(円)	45	75	75	市民1人当りの経費(円)	83		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	令和2年8月に策定した鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画に基づき、2市1町が連携して具体的なごみ処理施策を実施する。
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	現状では、予算規模は現状維持としているが、2市1町による広域処理の進展によっては予算規模が拡大することも想定される。焼却施設の整備、維持管理がなくなるため、全体としての経費は圧縮できる。			

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> ・2市1町でのごみの広域処理の実施計画策定に向け協議を進めており、今後も引き続き協議をしていく必要がある。 ・今後は、2市1町による広域処理の進展により、必要に応じて予算規模を拡大していく必要がある。
-------------------	---

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	・鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画を平成30年度(2018年)に策定することができなかつたため、引き続き2市1町による協議を行っていく。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	・鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画の策定に向けて、協議会、勉強会及び作業部会を開催して、協議を進め、鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画(素案)を公表し、市民説明会、パブリックコメントを実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画を令和元年度(2019年度)に策定することができなかつたため、引き続き2市1町による協議を行っていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画の策定					単位	-	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	令和元年度中の策定を目指していたが、令和2年中の策定を目指すこととした。		
ごみの広域処理の検討について、具体的な計画を策定することが、進行状況を評価する指標となるため。令和元年度中の策定を目指していた。	目標値	-	-	50.0	80.0	100.0	100.0			
	実績値	-	-	30.0	60.0	80.0	90.0			
	達成率	-	-	60.0%	75.0%	80.0%	90.0%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成28年(2016年)7月に締結した、鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域連携に係る覚書に基づき、2市1町でゼロ・ウェイストの実現を目指し、協議を進めており、2市1町のごみ処理広域化実施計画の策定を100%としている。									
-----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--